

泌尿器科

代表者メッセージ

私たちはロボット支援手術、泌尿器腹腔鏡手術、泌尿器内視鏡手術に力点を置いた手術的治療中心の泌尿器科の集団です。そして、手術の基本から応用まで確実に技術が取得できる泌尿器科集団です。もちろん診断に関してはすべての泌尿器科疾患に対応しますが、唯一小児泌尿器科領域だけは対応していません。

治療の中心は手術療法ですが、悪性腫瘍に対する薬物療法も積極的に行っています。なお、指導医は日本がん治療認定機構認定医を取得しています。

研修プログラムの概要と当センターでの研修の特長

岐阜大学泌尿器科専門研修プログラムは、岐阜大学医学部附属病院を基幹施設とし、15の連携施設から構成されています。岐阜大学泌尿器科研修プログラムの連携施設と協力施設は都会拠点病院、地方拠点病院を含み、幅広い研修が可能です。さらに、ほとんどの施設が症例の多い拠点病院であり、これらの施設で質、量共に十分な研修が受けられます。

連携施設である当センターは、ロボット支援手術や泌尿器内視鏡手術などの最先端医療に重点を置いています。月曜から金曜まで毎日が手術日で、ロボット支援手術、泌尿器腹腔鏡手術と泌尿器内視鏡手術が97%を占めており、いわゆる通常の開腹手術は年間10例未満です。また、当院はロボット(da Vinci Xi)2台体制のため、通常の腹腔鏡手術では無く、ほとんどがロボット支援下に腹腔鏡手術を行っています。当センターの指導医は全員が泌尿器腹腔鏡手術技術認定医でロボット支援下手術のプロクター資格を有しています。また、最新式のレーザー装置を有し、複数の最新式の泌尿器科硬性鏡、軟性鏡、内視システム、前立腺MRI-US融合生検装置も有しており、泌尿器科内視鏡手術、検査に対応しています。

当センターでの研修では、ロボット支援手術、泌尿器内視鏡手術、泌尿器腹腔鏡手術については岐阜の地で日本最先端を経験できます。

研修プログラムに参加するには

当センターでの研修可能人数:3学年で8名
詳細については岐阜大学のホームページをご
確認願います。

当センターでも問い合わせに応じます。また初期研修医2年目の短期見学に応じます。

[病院見学申込フォーム](#)

[お問い合わせフォーム](#)

岐阜県総合医療センター 研修センター

TEL:058-246-1111 内線8158